

6月15日(日)こども審査員 事前研修会・事前審査会 を開催します



今年度は、小学3年生から高校3年生までの合計13名が、「こども審査員」に就任し、大人審査員と一緒に、6月22日(日)に開催する公開審査会において、助成団体を決める審査を行います。審査会にいどむ前に、「こども審査員」として、「こどもファンド」の制度や趣旨を学ぶとともに、自分たちが審査をする時に、何を重要と考えるのか(審査項目)を、ワークショップ形式でみんなで話し合って決めます。審査項目の決定後は、実際に模擬審査を行い、審査会のプレ体験をします。研修会のあとは、大人審査員と一緒に、今年の応募団体に関する情報を共有する、事前審査会を行います(写真は昨年度の様子です)。

事前研修会

*「こどもファンド」の制度や趣旨の学び、審査項目の決定

模擬審査

*翌週に迫った公開審査会のプレ体験です

事前審査会

*こども審査員と大人審査員と一緒に応募団体に関する情報を共有する時間です

多くの善意をお寄せいただき、ありがとうございます (50音順)

- 《企業・団体様》
- ★医療法人仁栄会 島津病院 理事長 島津 栄一様
 - ★和建設株式会社 代表取締役 中澤 陽一様
 - ★株式会社岸之上工務店 代表取締役社長 岸之上 憲一様
 - ★一般財団法人 高銀地域経済振興財団 理事長 森下 勝彦様
 - ★株式会社公職研 代表取締役 大田 昭一様
 - ★株式会社四国清掃工業 代表取締役 森国 勇様
 - ★株式会社四国相互手形センター 代表取締役社長 矢野 利平様
 - ★株式会社松井ビル 代表取締役 松井 誠一様
 - ★高知黒潮ライオンズクラブ 会長 清水 源太郎様
 - ★高知県青年読売会 会長 尾崎 知宏様
 - ★国際ロータリー第2670地区 ガバナー 関 裕司様
 - ★三愛石油カスタマーサービス株式会社 代表取締役 池田 宜弘様
 - ★東京テクニカサービス株式会社ドコモショップ愛宕店 代表取締役 高橋 吉久様
 - ★有限会社大石電機 代表取締役 大石 典明様

- ★読売センター高知長浜 代表 中村 治 様
- ★依光内科クリニック 院長 依光 聖一 様

- 《個人様》
- ★梶原 太一 様 (高知市幸町)
 - ★久川 憲四郎 様 (神奈川県横浜市)
 - ★ほか、6名の個人の皆様

★お断り★
24年度にご寄附をいただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。

皆様の善意をお寄せください

子どもたちへの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。

寄附の手続きは簡単です。下記までお気軽にご連絡ください。手続き等は地域コミュニティ推進課のホームページでもご確認いただけます。

【お問合わせ先】
高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/088-823-9080)

【発行元】
高知市地域コミュニティ推進課
高知市鷹匠町2丁目1-43
TEL: 088-823-9080
E-mail: kodomofund@city.kochi.lg.jp
URL: http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/

★フェイスブック開始しています!★

高知市役所ホームページのトップ画面にある、こちらのバナーからご覧いただけます。⇒



こどもファンドアドバイザーがお手伝いします☆

子どもたちの活動をサポートする「こどもファンドアドバイザー」。助成が決まった団体の相談役としてだけでなく、「やりたい気持ちはあるけど、どんな活動にすればいいか、わからない」「みんなの意見をまとめたいけど方法がわからない」「来年度の応募に向けて活動の磨きあげをしたい。」いつでもお気軽にご相談ください。



こどもファンドアドバイザー
畠中 洋行さん

【連絡先】高知市地域コミュニティ推進課
(TEL/088-823-9080)

こうちこどもファンド 通信

第10号
(平成26年6月)

編集・発行: 高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/088-823-9080)

6月22日(日)公開審査会を開催します

平成26年度の助成団体を決める『こうちこどもファンド公開審査会』を開催します。審査は、公募等により選出された、小学生・中学生及び高校生合計13名のこども審査員と7名の大人審査員が行い、審査員の協議も、応募グループの子どもたちがプレゼンテーションを行った会場で、「公開」で行います。応募グループの子どもたちは、「自分たちの住むまちを良くしていきたい!」と真剣に審査会に挑んでいます。公開審査会は、どなたでも自由にご覧いただけますので、会場ぜひ足をお運びいただき、そんな子どもたちを応援してあげてください。

STEP1 公開プレゼンテーション

応募グループの子どもたちが、こども審査員・大人審査員に対し、3分以内で、自分たちの活動目的や具体的な活動内容について説明(プレゼンテーション)します。

STEP2 こども審査員の質疑

発表内容について、こども審査員と応募グループの子どもたちとの間で、5分間の質疑応答が行われます。

STEP3 助成グループの決定

助成の可否について、こども審査員が判断を行います。こども審査員13名の過半数(7名以上)の推薦を得たグループに、助成が決定します。

平成26年度助成応募グループのみなさん

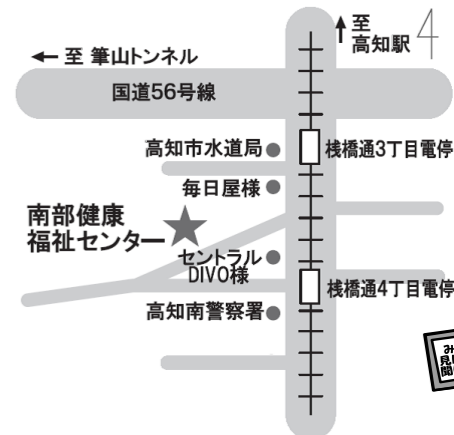
団体名	活動テーマ
高知市立横浜中学校生徒会 「横中ボランティアの会」	笑顔あふれるまちづくり ～Let'sクリーン 花華いっぱい大作戦Ⅲ～
キッズパフォーマンス 「土佐チル」	とどけます 笑顔と感動 交流で
高知市立介良中学校生徒会	やるじゃん! 介良 ～介良の史跡を知ってもらおう プロジェクトpart.2～
旭東防災レンジャー	みんなでお年寄りの命を守るんジャー!
横浜小学校 めざせ! クリーン地域	「自然学習林一斉清掃」 「めざせ! クリーン地域」
NSP(ナカイガバルゴイクト) おたすけ隊	まもれ、高知 自らの生命をまもり、我らの地域を 救う Nankai Survival Project
～Food Treasure Hunter In Namegawa!～	行川の「食」宝物探し!!
瀬戸東町1・2丁目 元気キッズ	こどもからお年よりまで仲よく元気なまちづくり ～とどけよう笑顔と元気・ ひろめよう仲よしの“わ”～
高知市立愛宕中学校生徒会	愛宕商店街活性化プロジェクト ～愛♡アート～
高知市立旭中学校生徒会 ～防災ASAHIの会～	つながろうASAHI! ～地域の防災の真ん中に～

「平成26年度公開審査会」

【日時】
平成26年6月22日(日) 13:30～17:00
※時間は目安です。進行状況により多少前後する場合があります。

【会場】→下の枠内地図を参照してください
高知市南部健康福祉センター 2階 大ホール
(百石町3丁目1-30)
※駐車スペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用の上、お越しください。

《会場案内地図》





「こども審査員」の交流会を開催しました



第1期から第3期までの「こども審査員」が集まる交流会を、5月11日(日)に開催し、小学3年生から高校3年生まで、計18名の子どもたちが集まりました。

交流会では、向かいあって座った二人が、お互いの似顔絵を書いて、相手を紹介する他己紹介を行いました。グループ討議では、新しく就任した審査員が審査をするうえで分からないことを、経験者は、審査をする時に大切と思ったことについて、互いに意見を出し合いました。グループ討議や、その後の発表も、低学年を高学年の子どもたちが上手にフォローし、終始、和気あいあいとした雰囲気となりました。いつか「こども審査員」経験者で同窓会を開けたらいいな♪少し先の話ですが、そんな考えも出てくる、楽しい時間となりました。

STEP 1 はじまりのごあいさつ



卯月審査委員長の開会あいさつで、こども審査員が集まる交流会がいよいよスタートです。

「こうちこどもファンド」は、子どもたちの想いをカタチにする制度として、平成24年度に始まり3年目をむかえました。

こども審査員の経験者や新たに就任されることになった皆さんから、色々な意見をもらうことで、より良くしていきたい、みんな一緒になって、「こうちこどもファンド」という制度を育てていってほしいこと等、今回、はじめて交流会を開催することとなった目的についてお話いただきました。

ワイワイ

参加者みんなが仲良くなるのに、時間はかかりません



ガヤガヤ



STEP 2 二人一組でペアをつくり、相手の似顔絵を描きます



向かい合って座った二人がペアになり、3分ほどで、お互いの似顔絵を描きます。ルールは、相手に対してはモデルとして最高の笑顔を見せながら、一方で絵師として手元を見ずに相手の似顔絵を描くこと。ここで大切なことは、絵が上手、下手ではありません。ステキな表情をひきだしながら、味のある似顔絵を描くことなのです。



完成した似顔絵の一部です♪

STEP 3 お互いのインタビュー



お互いのインタビューでは、キラキラした目で相手を見つめ、とびっきりの笑顔を見せてお話しができていました。

ちなみに、インタビューの項目は、「得意な教科・得意なことは?」「好きな食べ物は?」「好きな本や音楽は?」「審査員になってみて、審査員をやってみての今の気持ちは?」などです。



STEP 4 みんなにむけて他己紹介!



インタビューした相手になりきって、聞き取った内容を、他己紹介します。「これ、なんだったっけ?」本人にこっそり確認する場面も。高学年の審査員が、上手にフォローしてあげます。



また、別のペアの他己紹介でも、高学年の審査員に対して信頼のまなざしを向ける小さな審査員の表情が印象的でした。

また「最初は緊張するけど馴れたら楽しいよ」「度胸がついたよ」という心強い先輩の声もありました。

STEP 5 グループごとに話し合い



真剣なまなざしで他の人の意見に耳を傾けたり、頭に手をやりながらじっくり考えこんでいます。年齢問わず、学びあう姿がこちらこちらで見られました。

STEP 6 グループで出した内容をみんなに発表



どのグループも、新たに就任したこども審査員からの質問に、先輩たちが答えていくという、Q&A形式で、上手にまとめていました。

「緊張するときはどうすればいいですか?」「審査で迷ってしまったら?」「一番こころに残った企画は?」などなど、沢山の質問が出されていました。

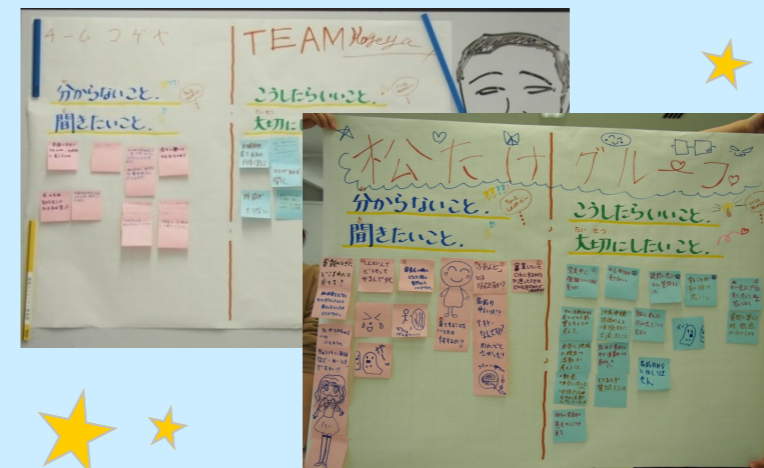
【交流会を終えて】

こども審査員の交流会は、今年初めて開催しました。「こどもファンド」制度を開始した平成24年度に「こども審査員」をしてくれた子どもたちの中には、大学生になり県外へ進学した後も、審査会の時には様子を見に来てくれている子もいます。

「こども審査員」を卒業しても、こういった交流会等を開催することで、ずっとつながっていけたら素敵だなと思いました。

交流会で出された新任審査員の質問と、先輩審査員からの回答を集約すると、『こども審査員マニュアル』のようなものが完成するかもしれません。

来年以降も同様に、審査員の交流会を開催していきたいと考えています♪



3つのグループ名は『チームコゲヤ』、『さわやかそうかいにこここグループ』、『松たけグループ』となり、グループで出した内容をとてもわかりやすく楽しく発表していただきました。